

第10回 すうがく徒のつどい

あるエンジニアから見た AIとこれからの数学

すむーずぷりんちゃん🍤

2026/10/12 於 神戸大学

自己紹介



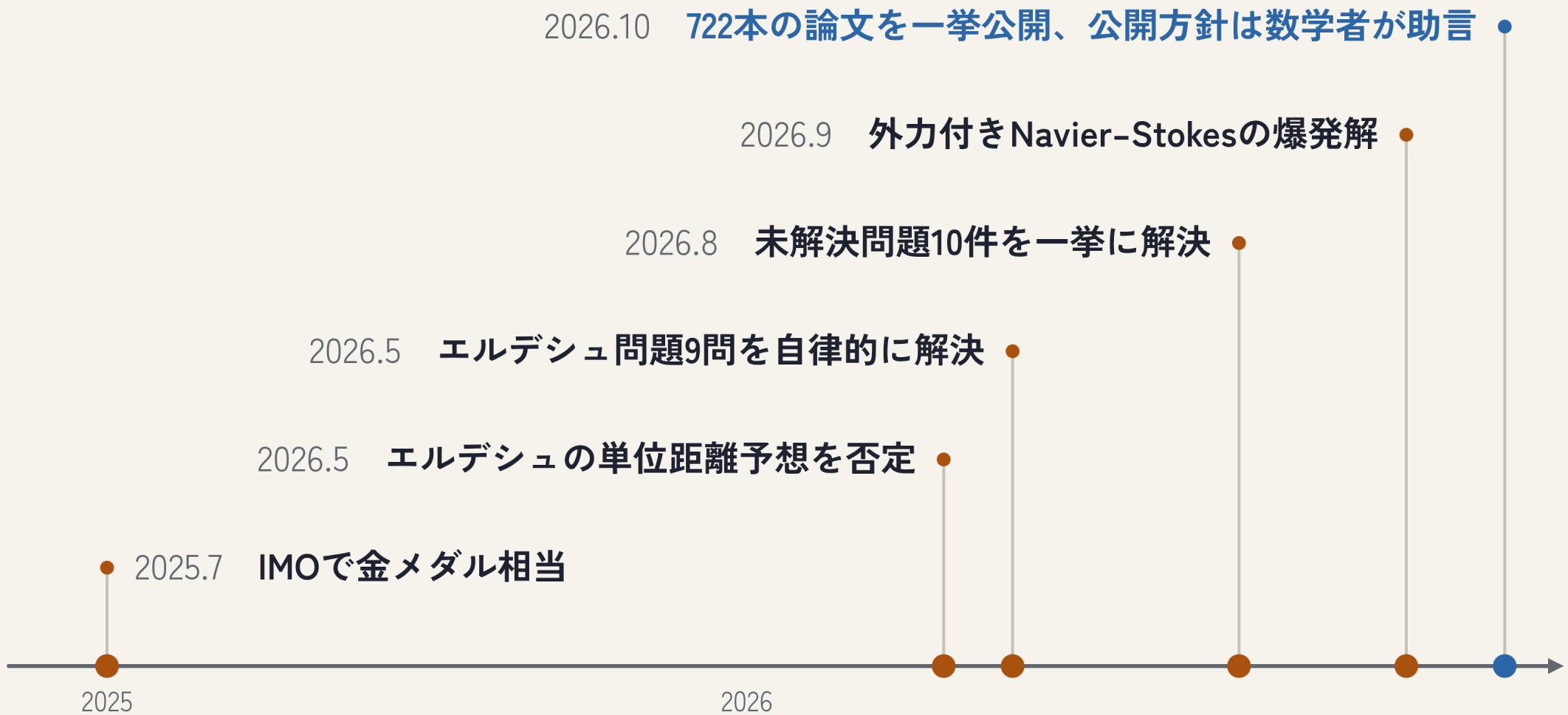
博士課程で流体の数値計算を研究



AIを使い倒すソフトウェアエンジニア



AIで数学書を書いている

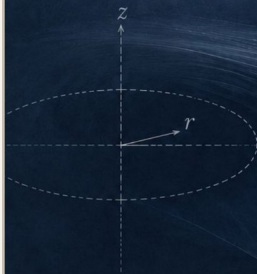


Navier-Stokes 方程式 有限時間爆発解

構成的証明の詳解

上巻 数学的準備

学部数学から、
最先端の結果へ。



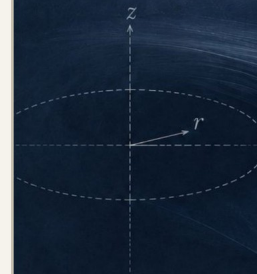
石川 寿雄 著

Navier-Stokes 方程式 有限時間爆発解

構成的証明の詳解

下巻 解の構成

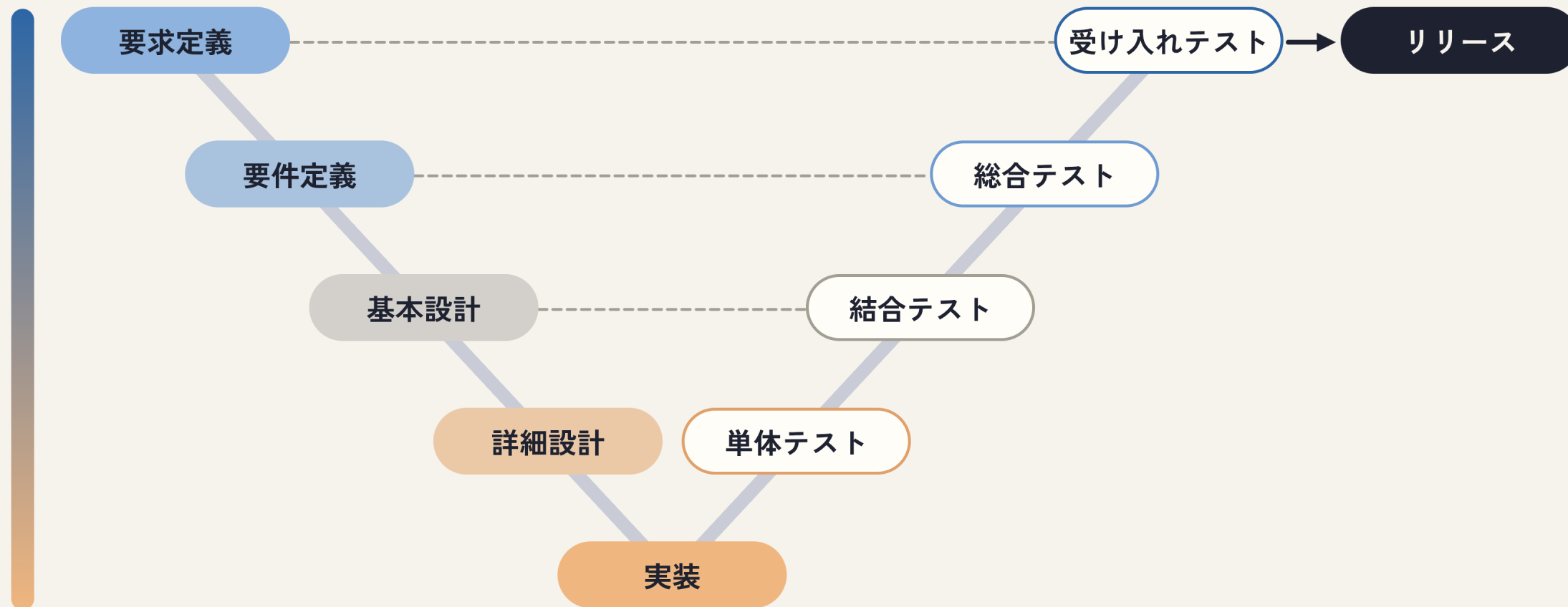
学部数学から、
最先端の結果へ。



石川 寿雄 著

ソフトウェア開発の話

上流工程

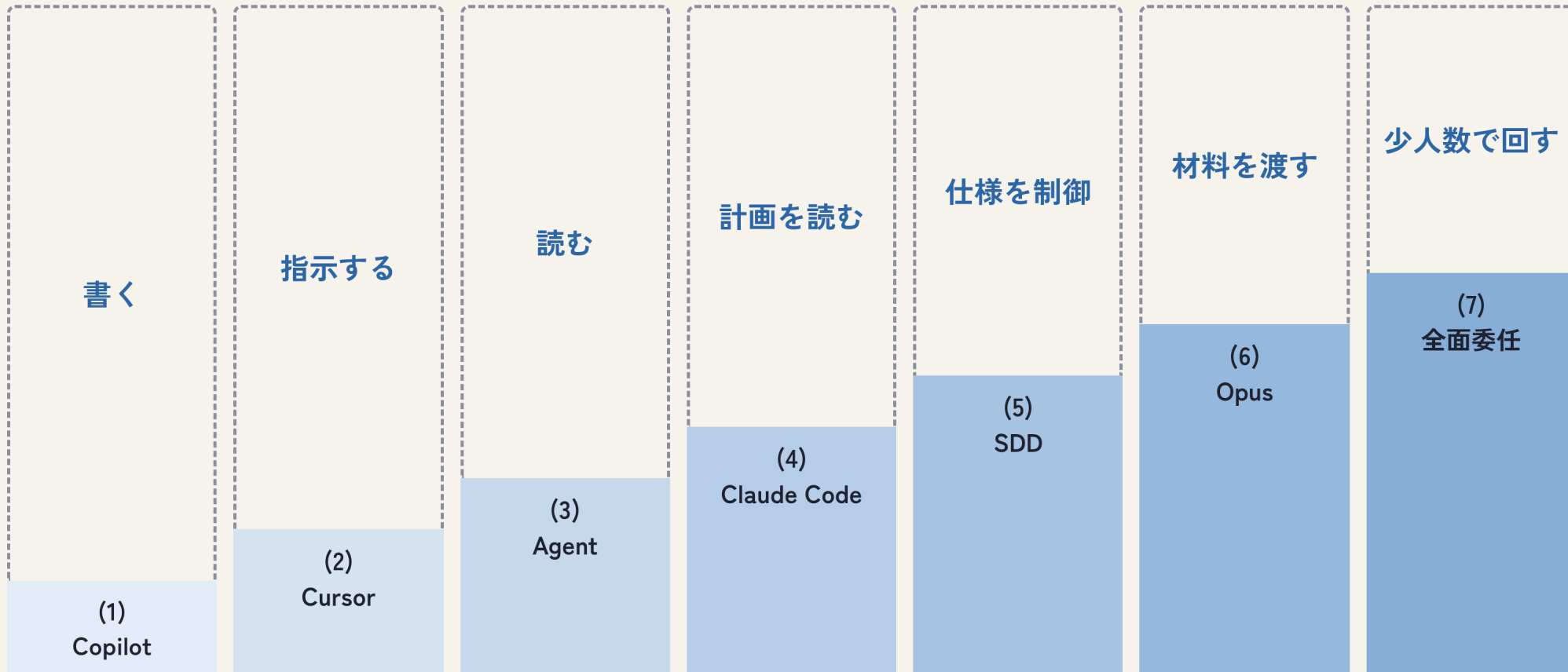


下流工程

上流工程



下流工程



かつて



人を集めて分担



いま



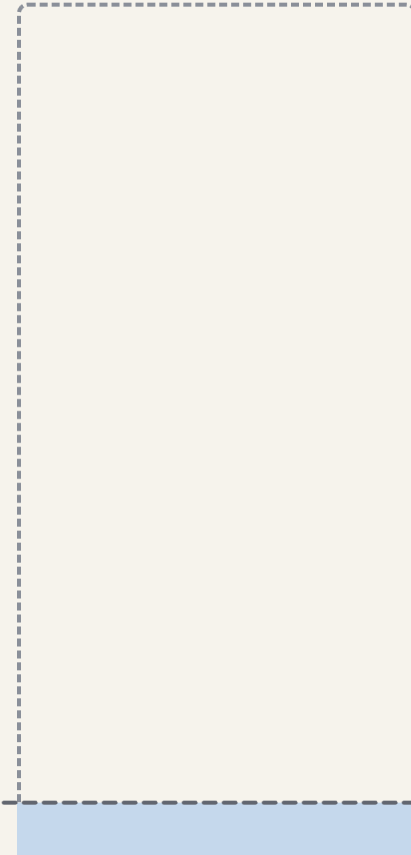
コミュニケーション重視

上流工程

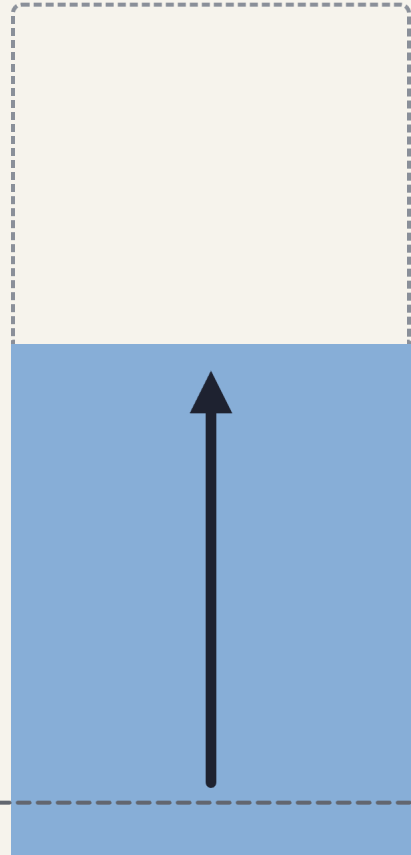


下流工程

以前

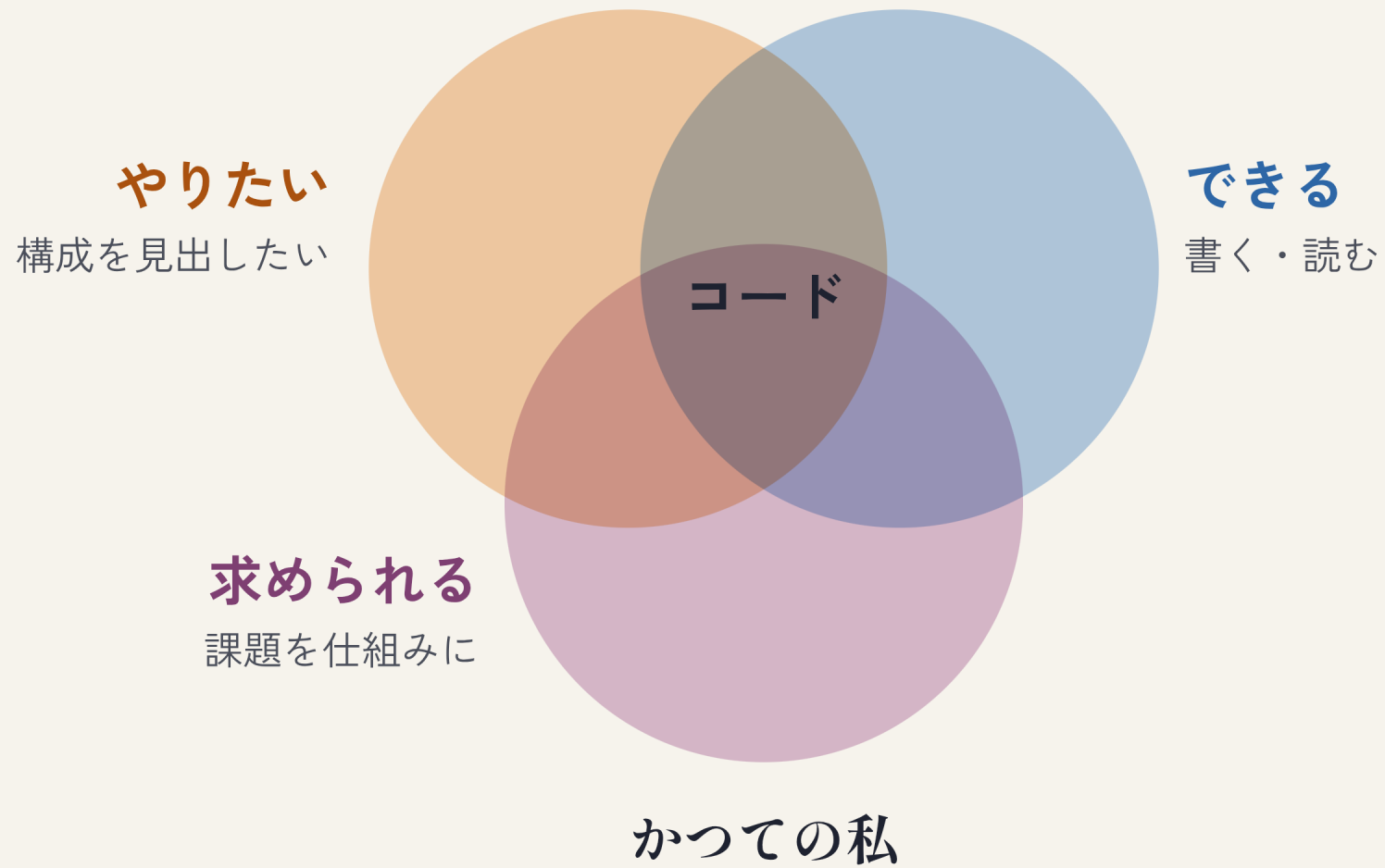


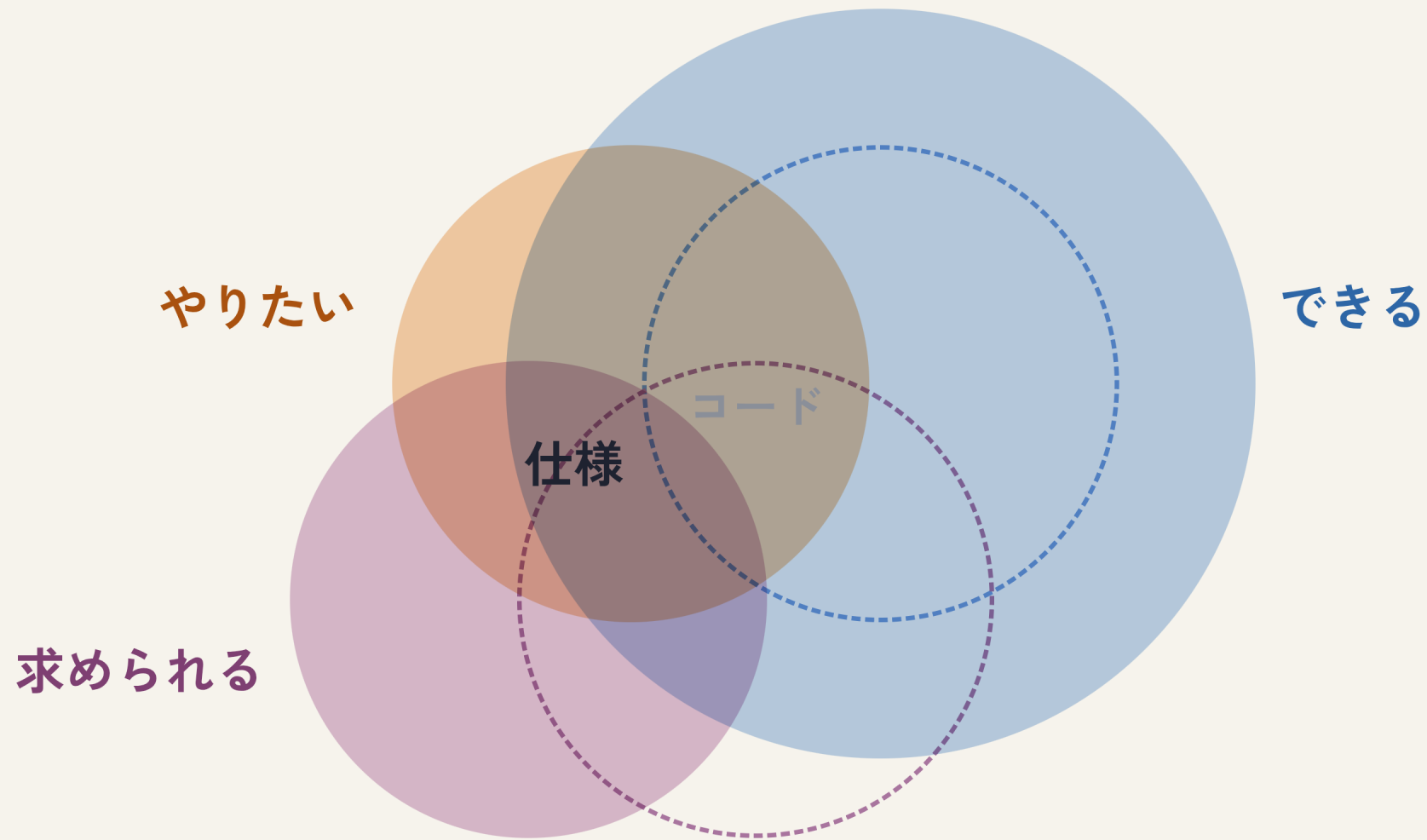
いま



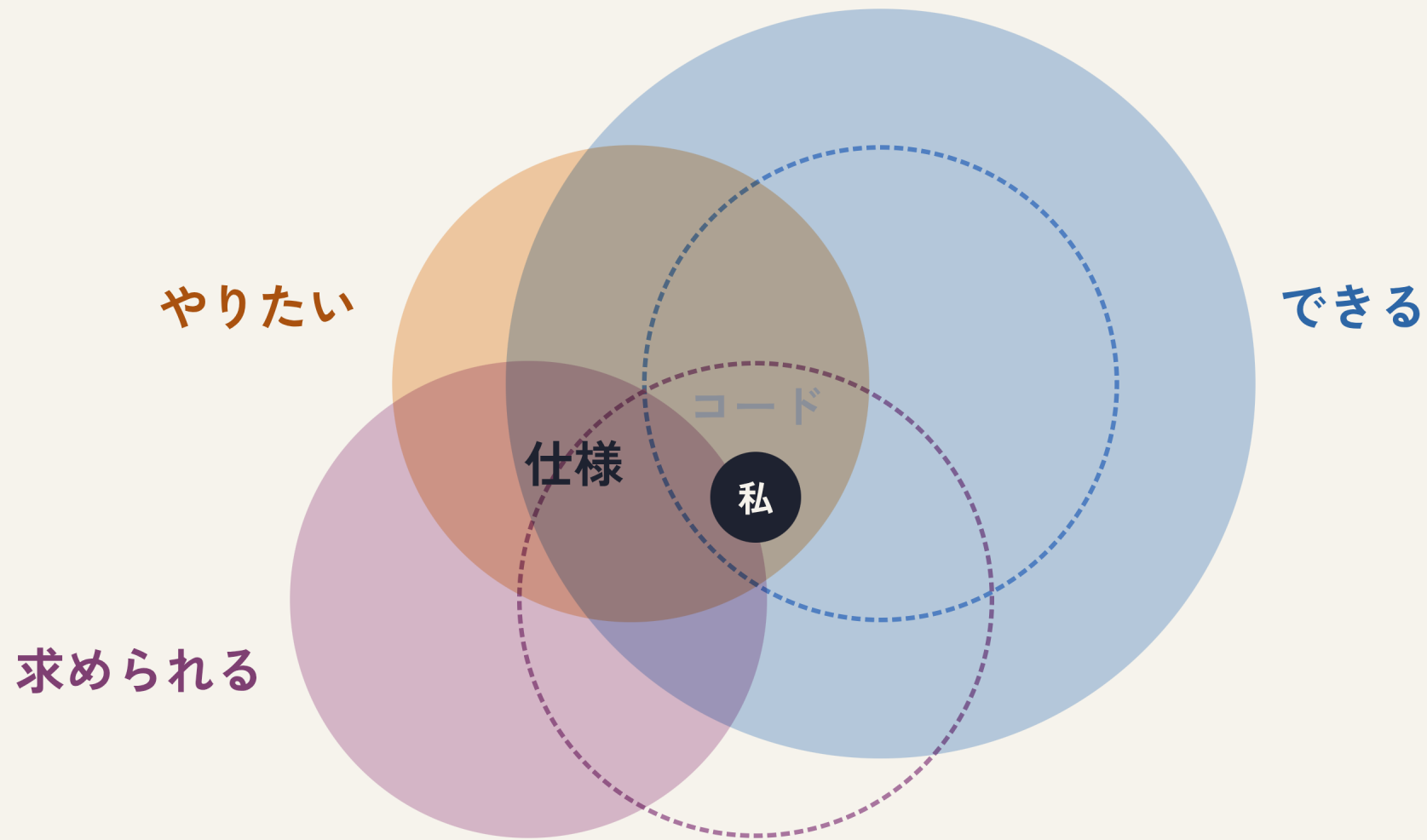
ラインがずれただけ

減びたように見える

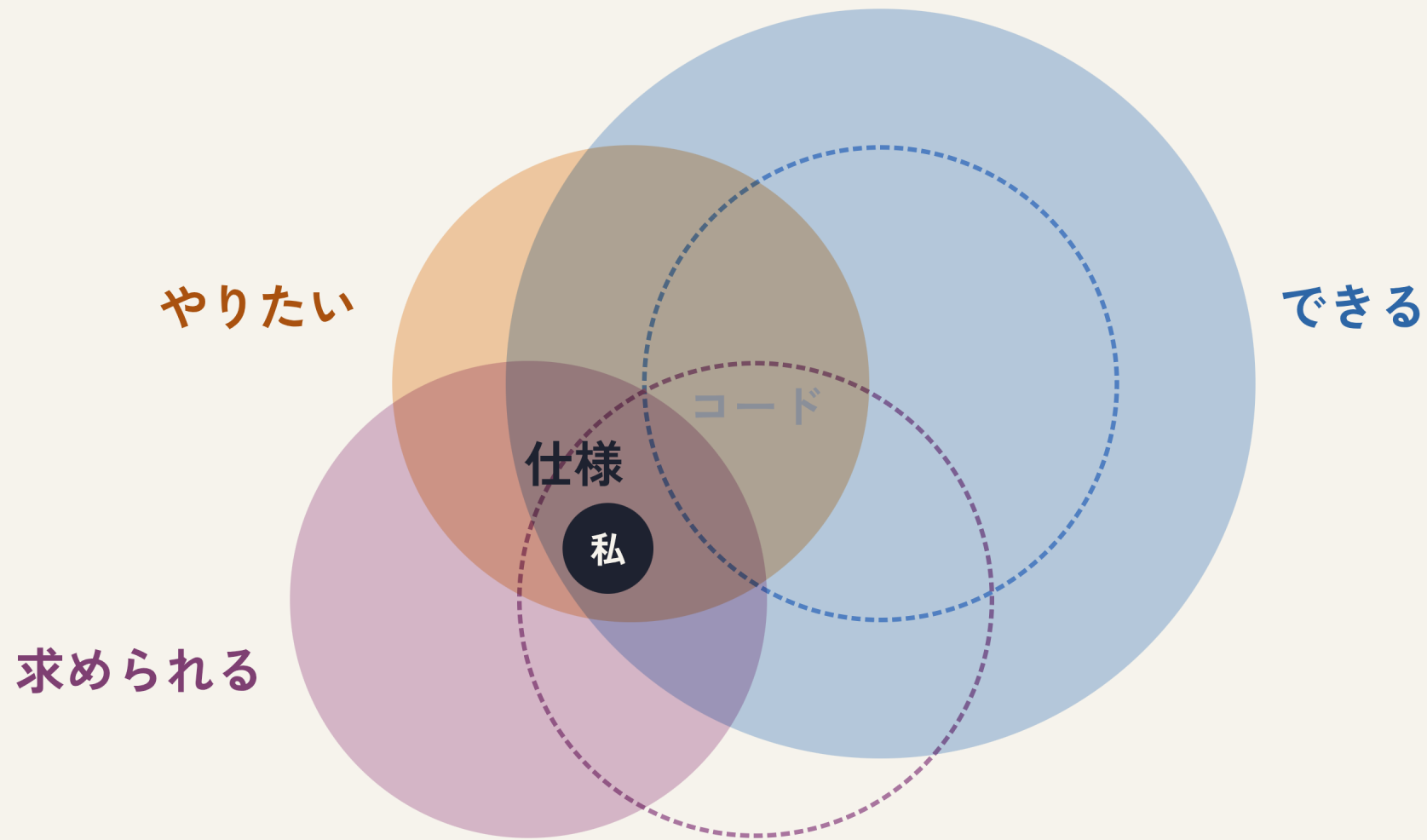




重なりが、コードから仕様へ

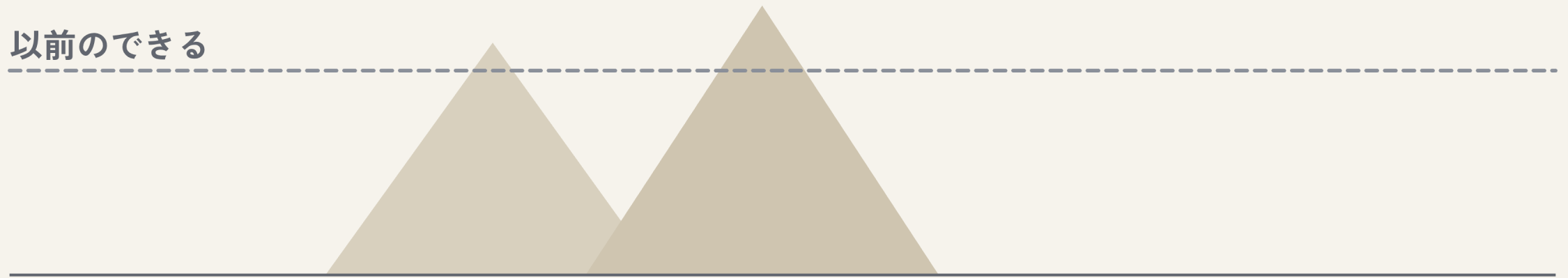


AIに張り合って、完敗



面白さの軸足を移動した

以前のできる



いまのできる

以前のできる



低くなった山

いまのできる

以前のできる

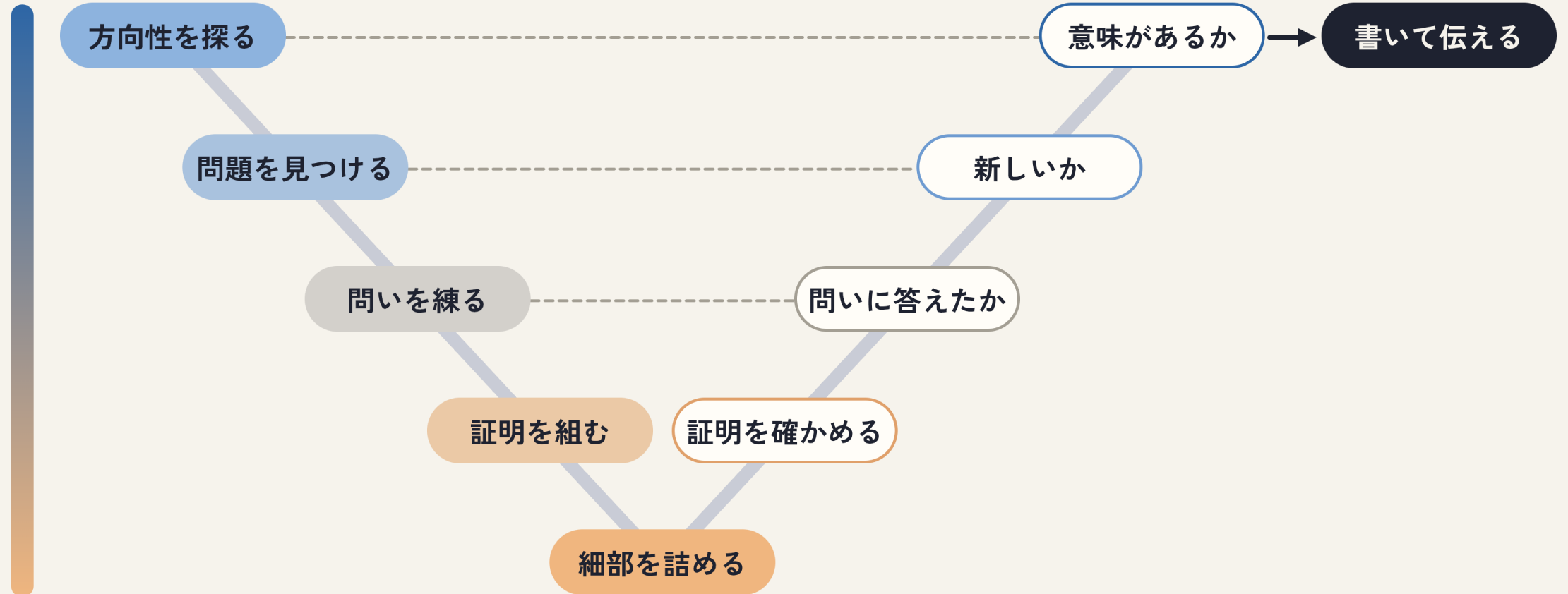
低くなった山

届くようになった山

では、数学では？

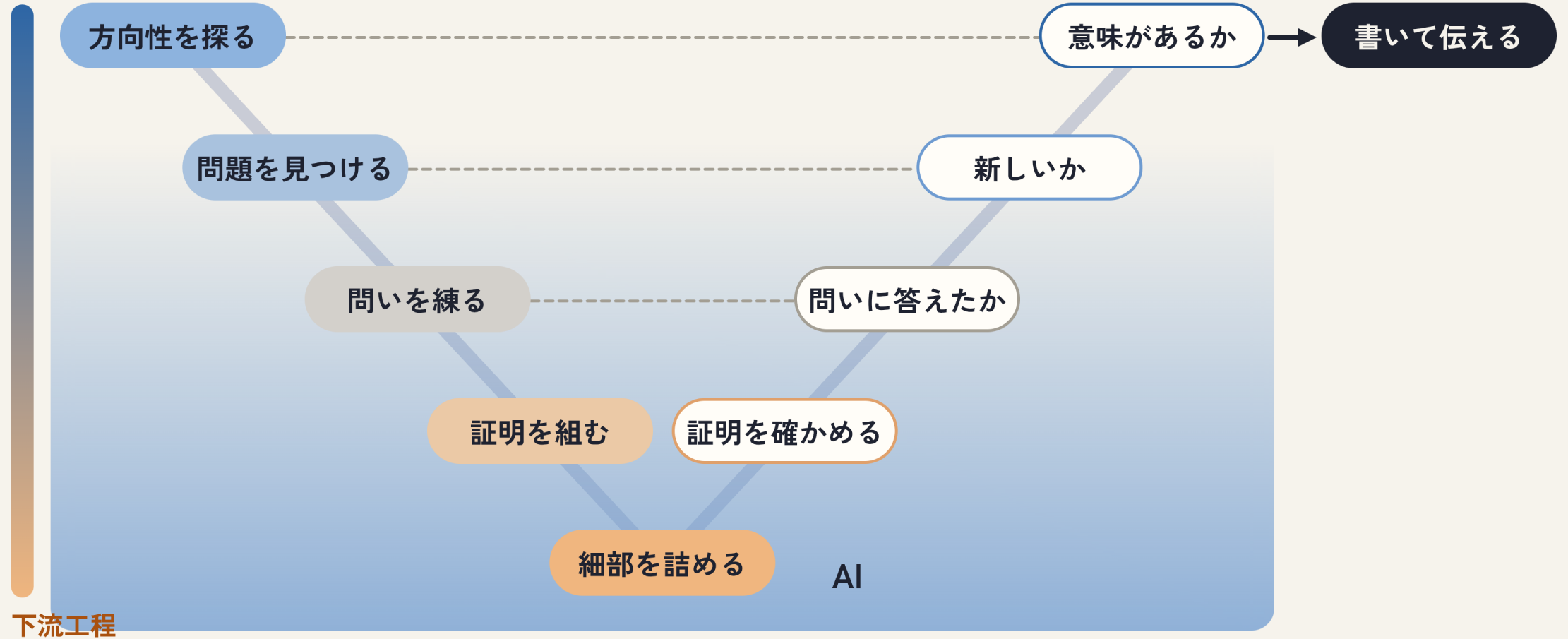
エンジニアから見た、一つの見立て

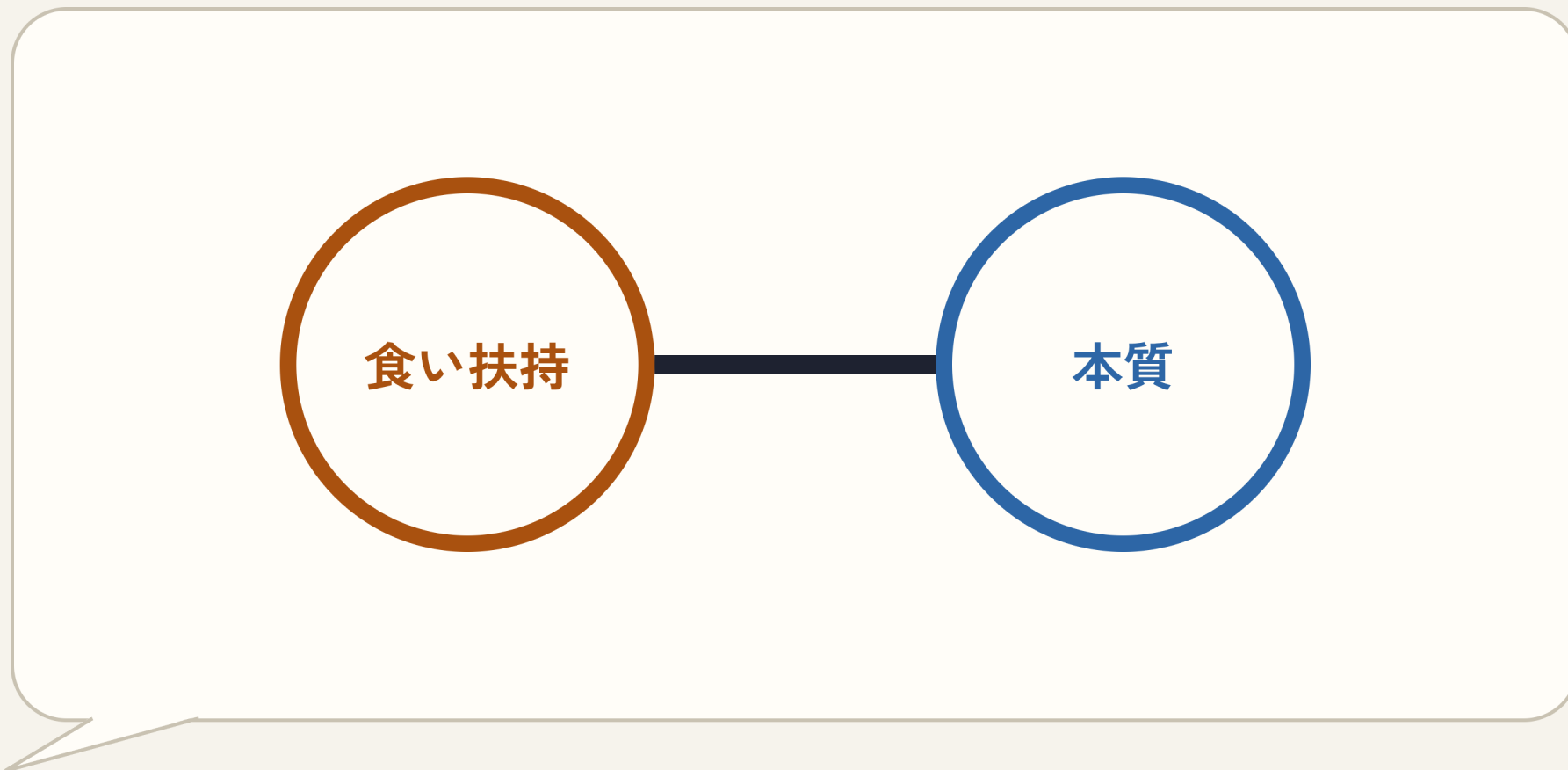
上流工程



下流工程

上流工程







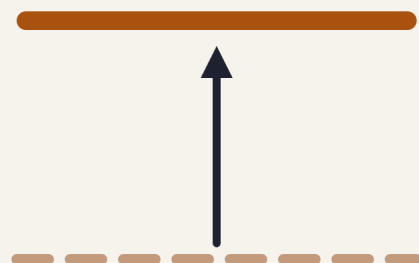




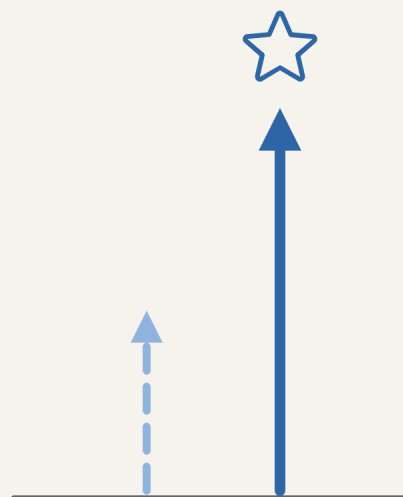
求められる水準



手の届く高さ



求められる水準



手の届く高さ

これまで

- 証明をやり切る人
- 技法を極めた人
- 結果を出し続ける人

これから

- 問いを立てる人
- 方向性を探る人
- 見通しを与える人

数学は、これから
どんな学問になっていくと思いますか？